

2022年度秋学期 東洋大学交換留学プログラム概要

◆出願資格◆

- ◆ 東洋大学協定校の学生で、所属大学からの推薦を受けていること。ISEP Exchange または UMAP Program A の学生であること。
- ◆ 学業成績が【協定校/UMAP】GPA2.5/4.0以上、【ISEP】GPA3.0/4.0以上であること。

◆出願料・授業料◆

- ◆ 協定校交換留学、ISEP Exchange、UMAP Program A の場合、東洋大学へ出願料・授業料を支払う必要はありません。

◆留意事項◆

- ◆ 障がいその他の理由により特別なサポートが必要な場合は事前にご相談ください。
- ◆ 東洋大学での所属学部は、必ずしも所属大学での学部や専攻と合わないことがありますが、どちらの学部の所属になっても履修できる科目は同じであるため問題ありません。また、大学院生も学部の所属となりますが、条件を満たせば大学院科目も履修可能です。
- ◆ 出願書類提出後の留学期間の変更(1学期間から 1学年間、1学年間から 1学期間)は原則認めていません。事前に決めたいうで出願してください。

◆授業◆

◆学年暦

本学の授業は、学期制(春学期と秋学期)もしくはクォーター制(第1～第4 クォーター)に分けて実施されます。

【2022年度学年暦】※2023年度学年暦は決定次第お知らせします。

学期	春学期		秋学期	
クォーター	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
授業期間	4/9～6/10	6/11～8/5	9/23～11/21	11/22～1/30
休暇期間	4/29～5/5、8/6～9/22		10/28～10/31、12/27～1/5、1/9、1/13～1/14、1/31～3/31	

授業期間内に試験が実施されます。

◆単位制

1単位は、授業や自習をすべて含めた 45時間の学修に対応しており、45時間の学修のうち授業の

占める時間は、講義・演習科目は 15時間、外国語科目は 30時間、実験・実技・実習科目は 45時間と設定されています。

※1時間を 45分とみなします。

授業科目等	単位数	授業回数 (1学期)	学修時間	
			授業時間	予習復習時間
講義・演習科目	2単位	15回	30時間	60時間
外国語科目	1単位	15回	30時間	15時間
実験・実技・実習科目	1単位	15回	45時間	0時間

一般的に講義・演習科目は1科目2単位、外国語科目は1科目1単位です。

◆履修科目数

日本の査証(ビザ)の在留資格(留学)の規定により、1週間に最低7科目(10時間)以上の受講を求められています。最大履修科目数の上限はありません。

◆履修相談

年に2回(4月と9月)本学で決定した指導教員との履修相談ができます。

◆履修可能科目

語学要件	履修可能科目			
	一般科目 (日本語)	一般科目 (英語)	正規日本語・ 日本文化科目 (日本語)	NEST (日本語/英語)
JLPTN2以上	○	○	○	-
JLPTN2未満 /J-CAT250点未満	-	○	-	○

*JLPT:日本語能力試験、J-CAT:Japanese Computerized Adaptive Test

一般科目:

文学部・経済学部・経営学部・法学部・社会学部・国際地域学部・国際学部・国際観光学部の交換

留学生対象科目

! 留学中に履修したい科目がリストにあるかどうか必ずご確認ください。科目リストに掲載されている科目のみ履修が可能です。特に理系の科目はほとんど履修することができません。

<https://www.toyo.ac.jp/en/international-exchange/prospective/Study-Aboard-Program-at-Toyo/e-index/>

せいぎにほんご にほんぶんかかもく
正規日本語・日本文化科目：

にほんご にほんご
日本語 I A / II A 日本語 I B / II B

にほんご にほんしゃかい にほんご にほんぶんか
日本語と日本社会A/B 日本語と日本文化A/B

<https://www.toyo.ac.jp/en/international-exchange/prospective/Study-Aboard-Program-at-Toyo/e-index/>

こうかんにゅうがくせいむ にほんご にほんぶんか
交換留学生向け日本語・日本文化プログラム：

- 開講科目： Japanese for Beginners Theory (2単位)
 - Japanese for Beginners Practice (2単位)
 - Integrated Japanese Theory I～Ⅲ (2単位)
 - Integrated Japanese Practice I～Ⅲ (2単位)
 - Japanese Listening I～Ⅲ (1単位)
 - Japanese Reading I～Ⅲ (1単位)
 - Project Work I～Ⅲ (1単位)
 - Japanese Writing I～Ⅲ (1単位)
 - Japanese Culture and Society A/B (2単位)
 - Introduction to Japanology A/B (2単位)
- } レベル別

<https://www.toyo.ac.jp/en/international-exchange/prospective/Study-Aboard-Program-at-Toyo/nest/>

◆ せいせき たんにんにんてい ◆
成績/単位認定◆

◆ せいせきひょうかきじゆん ◆
成績評価基準◆

ごうひ 合否	せいせきひょうじ 成績表示	ひょうかてんはんい 評価点範囲	きじゆん 基準
ごうかく 合格	S	100～90	とうたつもくひょう じゆうぶん たっせい きわ ゆうしゆう せい か おさ 到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収 めている。
	A	89～80	とうたつもくひょう じゆうぶん たっせい 到達目標を十分に達成している。
	B	79～70	とうたつもくひょう たっせい 到達目標を達成している。
	C	69～60	とうたつもくひょう さいていげん たっせい 到達目標を最低限達成している。
ふごうかく 不合格	D	59～40	とうたつもくひょう たっせい こうもく 到達目標を達成していない項目がある。
	E	39以下	とうたつもくひょう こうもく すべ たっせい 到達目標の項目の全てまたはほとんどを達成してい ない。
	*	ひょうかたいしやうがい 評価対象外	しゅつせき しけん ていしゆつなど ひょうかようけん けっかく 出席・試験・レポート提出等の評価要件を欠格

りしゅうとうろく かもく せいせきひょうか
履修登録した科目についてのみ成績評価されます。しゅつせき しけん ていしゆつなど ひょうかようけん み
出席・試験・レポート提出等の評価要件を満た
さなかった場合は、ひょうかたいしやうがい
評価対象外(*)となります。

◆ 単位認定

上記成績評価基準で合格に値する科目について、単位が認定されます。

◆ 成績証明書

交換留学期間終了後に成績証明書を各大学宛てに送付します。(学期終了の約1ヶ月半後)

◆ キャンパス ◆

履修可否	キャンパス	学部	所在地	URL
○	白山	文学部・経済学部・ 経営学部・法学部・ 社会学部・ 国際地域学部・ 国際学部・国際 観光学部	東京都文京区 白山5-28-20	http://www.toyo.ac.jp/about /access/hakusan/
×	赤羽台	情報連携学部 ライフデザイン学部	東京都北区 赤羽台1-7- 11	http://www.toyo.ac.jp/about /access/akabanedai/
×	川越	理工学部・総合 情報学部	埼玉県川越市 鯨井2100	http://www.toyo.ac.jp/about /access/kawagoe/
×	板倉	生命科学部・ 食環境科学部	群馬県邑楽郡 板倉町泉野 1-1-1	http://www.toyo.ac.jp/about /access/itakura/
○	総合スポーツセンター	スポーツ科目	東京都板橋区 清水町92-1	http://www.toyo.ac.jp/about /access/general_sports_cente r/

◆ 宿泊施設 ◆

◆ はじめに

原則として、東洋大学国際交流宿舎「AI-House」へ入居いただけます。その他学生マンションや一般賃貸物件、親戚等の家に住むことも可能です。各施設により条件が異なります。AI-House は空室数

以上の希望があった場合は抽選とします。

※親戚等の家に住むことも可能です。

施設	東洋大学国際交流宿舎「AI-House」	その他
手配	交換留学生本人が専用サイトから申込みます。	交換留学生本人が学生マンションや不動産業者へ連絡し、相談してください。
住所	東京都北区赤羽台1-7-37 (白山キャンパスより外口15分+徒歩17分、赤羽台キャンパス内)	物件により異なります。
居住期間 (予定・変更の可能性あり)	2022年9月12日～ 2023年1月31日(1学期間) 2022年9月12日～ 2023年8月5日(1学年間)	物件により異なります。
家賃・居室 (予定・変更の可能性あり)	96,000円/月額 寝具レンタル料2,300円/月額(予定) ・全ての部屋は1人用個室寝室です。 男女フロアが分かれています。キッチン、シャワー室、トイレ等の共有スペースがあります。 ※平日の朝食・夕食、光熱水費・インターネット利用料含む。 ※光熱水費は宿舎費に含まれていますが、大幅な使い過ぎが見受けられた場合には、別途費用を請求する場合がありますので注意してください。	物件により異なりますが、1人部屋の場合月額約70,000円～です。家賃以外に、入居時に一時金が必要な場合が多いです。部屋のタイプは多様な種類から選択できます。
家賃の支払方法 (変更の可能性あり)	来日後、月ごとに宿舎費をコンビニエンスストアでお支払いいただきます。原則、一度支払った宿舎費の返金はいりません。また、食事をとらなくても宿舎費の一部返金はありません。	月々業者指定の口座へ銀行振込する場合があります。
設備・備品	○冷蔵庫 ○エアコン ○学習机 ○椅子 ○カーテン ○クローゼット ○Wi-Fi ○ベッド ※寝具はレンタル制です。別途料金をお支払いいただきます。	物件により異なります。学生マンションでは備品や家具付きの場合が多いですが、一般賃貸物件は付いていない場合が多いです。

共用 設備	○ロビー ○カフェテリア ○共有キッチン ○シャワー室 ○トイレ ○ランドリールーム ○多目的室 ○学習室 ○音楽スタジオ	物件により異なります。
管理人・ 警備員	住み込みの管理人が 2名常駐しています。(8:00~19:00) 19:00~は警備員が駐在します。	物件により異なります。
レジデ ント・アシ スタント (RA)	皆さんの生活をサポートするために、 東洋大学生のレジデント・アシスタントが 居住しています。月に 1度RA主催のイベ ント・教育プログラムも実施しています。	物件により異なります。
交通費	11,860円(3ヶ月学生定期券の場合)	物件の場所により異なります。
Web サ イト	https://toyo.749.cc/aihouse/	(参考) Uninest Hakusan: https://unineststudents.jp/en/locations/tokyo/hakusan-house/ Nasic学生情報センター: http://749.jp/ SAKURA HOUSE: http://www.sakura-house.com/en
備考	・利用規約に合意できない方は入居できません。入居申請時(受入決定後)に合意書を提出していただけます。 ・訪問者の居室への入室はできません。 ・詳細は入居のしおりを確認してください。	・入居先は入国後に下見をして決定することが多いため、入国後ホテル等短期間宿泊できる場所を見つけておく必要があります。 例)ホテルリブマックス後楽園 約7,000円~/1泊 http://www.hotel-livemax.com/tokyo/korakuen/ ・一般物件を契約する際は保証人が必要になります。保証人についてはお問合せください。 ・最寄の市/区役所への転入手続き、国民健康保険加入手続きは各自行っていただけます。

※交換留学生は、国際会館(千駄木)への入居は原則できません。

◆ にほんでの生活 ◆

◆ 食事

大学内の学生食堂: 約¥550 長期休暇期間や大学の休業日などを除いて、10:00 から 20:00 まで、月曜日から土曜日まで営業しています。

大学・国際交流宿舎の周辺は、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、飲食店が多くある地域です。

◆ 保険

交換留学生は、国民健康保険に加入することが日本の法律で定められています。保険料は月額約1,500円です。この保険の加入により自分で負担する医療費は、本来支払うべき額の30%で済みます。詳細並びに申し込みは、来日後のオリエンテーションの際に行います。また、万一来日に備え、自国にて任意の海外旅行保険等に加入することを推奨します。

◆ 学生証

東洋大学から支給される学生証で、学内の図書館、PC室が利用できます。また、旅客運賃、美術館、劇場等の学生割引にも使用できます。

◆ 銀行口座

来日後に日本の銀行口座を開設することができます。口座の開設には通常2週間前後かかります。また、海外から日本への送金には、通常1週間から10日程度かかります。

◆ アルバイト

在留資格「留学」でアルバイトを行う場合は、入国時に空港、もしくは後日入国管理局で申請を行い、資格外活動許可証を取得する必要があります。週28時間までのアルバイトが認められます。

◆ 生活費(家賃以外) ◆

[1ヶ月あたり]

食費: 約50,000円～

※ AI-House 入居の場合は平日朝食・夕食が宿舎費に含まれるため、宿舎費以外に約30,000円

～

国民健康保険料: 約1,500円

SIMカード代: 約3,000円～

その他(交通費・交際費等): 約5,000円(定期券代を含めると10,000円)～

〔各学期〕

教科書・参考書代：約20,000円～

日本は現金社会でクレジットカードが使用できない場合も多いです。来日直後の最低限必要な現金として、また万一の備えに15～20万円を用意しておいてください。

◆ビザの手続き◆

日本へ入国する際は、「在留資格認定証明書」と「ビザ(査証)」が必要になります。

- 「在留資格認定証明書」は、東洋大学の指定する行政書士が申請し、みなさんの大学へ送ります。
- 「ビザ(査証)」は、みなさんが各自で最寄りの日本の在外公館へ行き取得してください。

◆在留資格認定証明書

在留資格認定証明書は在外公館での査証の申請時に提示してください。また、日本への上陸審査の際に入国審査官に提出しなければなりません。なお、本証明書の発給日から3か月以内に上陸の申請(入国)をしないと、効力を失います。

『在留資格認定証明書』とは、外国人が上陸審査の際に日本で行動する活動が虚偽のものでなく、かつ、入管法上のいずれかの在留資格(短期(3ヶ月)滞在の在留資格を除く)に該当する活動である等の上陸の条件に適合していることを証明するために、法務省所管の各地方入国管理当局において事前に交付される証明書のことで、

※コロナ禍においては、さらに文部科学省の発行する「審査済証」が必要となります。

◆経済支弁

在留資格認定証明書の申請時、日本滞在期間に対して月額12万円程の経済支弁の証明(銀行の残高証明書など)を提出していただきます。

◆ビザ(査証)

査証の発給は、在外公館で行っています。発給までにかかる時間は各国の日本領事館等に確認してください。査証発給から3ヶ月以内に入国して下さい。発給される査証の滞在期間内であれば複数回入国可能な査証です。

※『査証』とは、日本に入国しようとする外国人の入国及び滞在が差し支えないことの判断を示すものです。なお、査証そのものが入国(滞在)許可を保証するものではなく、空港又は海港における上陸申請のための要件の1つとされていることに御留意願います。日本は、他の多くの国と同様に外国人が入国するためには、査証とは別に出入国管理当局の許可を得なければならない制度をとっています。これが上記の『在留資格認定証明書』にあります。

◆ビザ(査証)の申請について

【申請に必要なもの】

- ビザ(査証)申請書(在外公館の窓口で配布) ●有効なパスポート(旅券)
 - 写真2枚(45×45mm、6ヶ月以内に撮影したもの) ●在留資格認定証明書 ●入学許可証明書
- 渡航関連情報(ビザ:査証) ※必ず最新の情報をご確認ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/>

◆来日日◆

受入決定通知の際に、来日日をお知らせします。オリエンテーション開始前の二日間を指定しますので、必ずこの二日間に来日して下さい。指定日前に来日しても、寮に滞在することはできません。(寮以外に入居する場合も、来日日までに入国してください。)

(来日予定日:2022年9月12・13日)

◆オリエンテーション◆

学籍登録、入国管理、区役所手続き、国民健康保険、銀行口座開設、宿舎、キャンパス内・外での生活についてなど、日本での勉強、生活に関する全ての重要な事項が詳細に説明されます。交換留学生は、必ずこのオリエンテーションに参加してください。

◆問い合わせ先◆

【東洋大学国際教育センター】

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

TEL: +81 3 3945 7685 E-MAIL: mlies@toyo.jp